



IUFR0-J NEWS

No. 128 (2020.7) —

IUFR0-J 議長就任にあたって

IUFR0-J 議長 中静 透

2020年4月1日に国立研究開発法人森林研究・整備機構の理事長を拝命し、あわせて森林総合研究所の所長も兼ねることになりました、中静（浅野）透です。沢田治雄氏の後任として国際森林研究機関連合日本委員会（IUFR0-J）の議長をお引き受けすることになりました。学会などでは、ずっと旧姓の「中静」で活動してきましたが、事務手続きなどは戸籍上の姓である「浅野」でさせていただくことになります。お手数をおかけしますが、よろしくお願いします。

IUFR0にはこれまで何度か世界大会に参加させていただいたほか、ブナやナラの研究集会にも参加させていただきました。また、2006年から2010年までGeneral Board Memberを務めさせてもらい、大変貴重な経験をさせていただきました。

1992年のリオデジャネイロの地球サミットで気候変動枠組み条約や生物多様性条約とともに、森林条約も締結の話があったものの締結には至らず、森林に関する政府間パネル（IPF）や国連森林フォーラム（UNFF）を経て、「我々の求める2015年以降の森林に関する国際的な枠組（IAF2015）」に至る流れの中で、森林に対する社会の評価もかなり変化したと思います。また、それまで減少し続けていた熱帯の森林面積も、2000年以降はいくつかの国では増加に反転し始めています。再生可能な資源を生む自然資本としての森林の評価も高まっていま

す。さらに、森林のもつ多面的な機能（生態系サービス）を考えると、SDGsでも陸上生態系の保全（目標15）だけでなく、数多くの他の目標にかかわっており、持続可能な社会の実現には不可欠なものと認識されています。

IUFR0はもうすぐ130年という長い歴史をもつ学術団体ですが、IUFR0-Jが設立（1976年）されてからも40年以上の歴史があります。日本の森林研究にはもっと長い歴史がありますし、とりわけ植林して収穫を何回も繰り返すという持続可能な林業生産の歴史と経験は世界に誇れるものがあると思います。森林の新しい価値と持続可能性が見直されようとしている現在、日本の森林研究者に期待されるものは非常に大きいのではないかと考えています。

とはいえ、日本国内での多くの研究成果に比して、国際的な発信という点ではまだまだ大きなポテンシャルがあると考えています。その意味では、IUFR0は人事交流、情報の交換・発信、国際社会への貢献の大きなチャンネルですので、このチャンネルを積極的に利用していただくことを心から願っています。森林のもつ社会的な役割から考えると、従来の研究分野を超えて広い分野の方々にもIUFR0に参加していただくことも必要になるでしょう。今後とも会員の皆様のご支援と会員増加へのご協力をお願い申し上げます。

IUFRO 国際評議員会報告

(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所理事 坪山良夫

すでに前号に報告が掲載されていますが、第 25 回 IUFRO 世界大会が、2019 年 9 月 29 日～10 月 5 日にブラジルのクリチバで開催されました。ここでは大会期間中の 10 月 2 日に開かれた国際評議員会 (International Council Meeting, 以下 IC) の概要を報告します。なお、会議資料の大半は事前に IC のサイト (<https://www.iufro.org/international-council-meetings/>) に掲載され、当日は各自ダウンロードか印刷した資料を見ながら参加しました。これらの資料は現在も掲載されていますので、適宜ご参照下さい。

IC の会場は、正面の本部席に向かって、参加各国の代表の席が半円形に英語の国名順に並ぶ配置で、私の左隣はインドネシア、右隣はケニアの方でした。会議は夕方 4 時に始まり、途中の休憩を挟んで、夜 8 時まで続きました。

前半は、会長の挨拶、定足数の確認と会議成立の表明、議事次第の承認、前回 IC の議事録の確認に続いて、会長、副会長及び常任理事の報告がありました。前回のソルトレークシティ大会以降の 5 年間 (2014～2019 年) に、大きな出来事として 2017 年に 125 周年記念大会がドイツのフライブルクで開催されたこと、IUFRO メンバーの機関会員 (Officeholders) が 730 から 839 に増えたこと、機関会員の 85% が北米、欧州及び中国であること等が報告されました。その後、IUFRO の戦略の改訂版が採択されました。

後半は、はじめに元会長の Niels Elers Koch 博士を名誉会員に推薦する提案があり、承認されました。続いて、会長と副会長の選挙が行われ、会長として John Parrotta 博士 (アメリカ)、ディビジョンの副会長として Daniela Kleinschmit 博士 (ドイツ)、タスクフォースの副会長として Shirong Liu 博士 (中国) が選ばれました。さらに理事の選挙が行われ、各ディビジョンのコーディネーターとして、D1: Jens Peter Skovsgaard 博士 (スウェーデン)、D2: Santiago C. González-Martínez 博士 (フランス)、D3: Woodam Chung 博士 (アメリカ)、D4: Donald Hodges 博士 (アメリカ)、D5: Pekka Saranpää 博士 (フィンランド)、D6: Cecil C. Konijnendijk van den

Bosch 博士 (カナダ)、D7: Eckehard Brockerhoff 博士 (スイス)、D8: Sandra S. Luque 博士 (フランス)、D9: Monica Gabay 博士 (アルゼンチン) の 9 人、会長の指名理事として、Hubert Hasenauer 博士 (オーストリア)、Erich Gomes Schaitza 博士 (ブラジル)、Xiao Wenfa 博士 (中国)、Tadesse Wubalem 博士 (エチオピア)、Elena Paoletti 博士 (イタリア)、Kugbo Shim 博士 (韓国)、Olga Shaytarova 博士 (ロシア) の 7 人が選ばれました。いずれも信任投票で反対票はありませんでしたが、候補者が地理的に偏っているのではないかという意見がありました。投票を伴う議事としてもう 1 つ、IFSA (the International Forestry Students' Association) を理事会の恒久的なオブザーバーにするための規約改正に関する提案があり可決されました。

続いて、次の世界大会を 2024 年、スウェーデンのストックホルムで開催することが発表され、プレゼンテーションと現地を紹介するビデオ上映が行われました。開催地のストックホルムは、展示会場でも入口正面の最も目立つ場所に立派な展示ブースを構え、開催に向けた意気込みをアピールしていました。その後、IC の活性化をテーマにした意見交換等が行われ、会議は終了しました。

ここからは感想です。IC に始めて参加しましたが、選挙は実質的に信任投票であり、私のように IC から参加した者には、候補者の選定がどのように行われたのかわからなかった。一方で、IC とは別のイベントで会った韓国の方に、日本は、これだけ多くの大会参加者がいて、IUFRO での活動も盛んなのに理事会メンバーに日本人がいないのはなぜかと言われました。IUFRO コミュニティにおける日本のプレゼンスの向上は、大学、研究所とともに組織的に対応すべき課題と考えています。

以上のように、IC に関してはいくつか課題が残りましたが、大会全体としては様々な魅力に満ちた交流のイベントでした。目下、新型コロナウイルスの影響で国際的な研究活動が大きく制限される状況が続いていますが、このような機会を持てる日が再び来ることを願って、この報告を結びたいと思います。

IUFRO-J 令和 2 (2020) 年機関代表会議

第 131 回日本森林学会大会が開催中止となったため、3 月 29 日 (日) に予定していた IUFRO-J 令和 2 (2020) 年機関代表会議も中止し、電子メールで審議をおこなうこととしました。3 月 24 日に、代表会議において審議予定であった議題と参考資料を、A 会員 19 機関、B 会員 15 機関 (合計 34 機関) の代表者に電子メールで送付し、4 月 8 日 (水) まで意見を求めました。その結果、議案を否認する連絡は 1 機関もなかったことから、議案は承認されました。以下、代表会議で審議、承認された議題の概要を報告いたします。

(開催中止となりましたが) 機関代表会議準備に際して、名古屋大学の第 131 回日本森林学会大会運営委員会の皆様にはお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

議題 1. 2019 年度会務報告

1-1. 一般会計事業

1) IUFRO-J NEWS 発行

No.126 (2019 年 9 月)

- ・アジア太平洋地域林業研究機関連合 (APAFRI) 第 8 回総会報告
- ・「第 5 回 IUFRO Working Party 2.09.02 コインブラ, ポルトガル 2018 国際会議」に参加して
- ・IUFRO Conference on Adaptive Management for Forested Landscapes in Transformation 参加報告
- ・第 4 回 国際人工林学会の参加報告
- ・平成 31 (2019) 年 IUFRO-J 機関代表会議
- ・IUFRO INFORMATION
- ・事務局からのお知らせ

○ IUFRO 本部ウェブサイトでの案内 (調整中) :

<https://www.iufro.org/fr/discover/noticeboard/iufro-announcements/>

No.127 (2020 年 2 月)

- ・第 25 回 IUFRO 世界大会 参加報告
- ・IUFRO はホームー森林の放射能汚染セッションの企画運営に想う
- ・「IUFRO World Congress 2019」参加報告
- ・IUFRO 世界大会の “New Methods and Applications of Tropical Timber Identification to Promote Legal Logging” セッションに参加

加して

- ・IUFRO2019 展示ブースにおける異文化交流
- ・IUFRO INFORMATION
- ・事務局からのお知らせ

○ IUFRO 本部ウェブサイトでの案内 (調整中) :

<https://www.iufro.org/fr/discover/noticeboard/iufro-announcements/>

2) IUFRO 関連研究集会事務局・参加助成

事務局助成：申請 1

補足：選考委員と事務局で議論し、以下の条件をつけての採択としている。

- ・趣旨に沿って活用し、使途内容を IUFRO-J 事務局に報告する。残金が生じたら返納。
- ・IUFRO-J の助成があることを、研究集会参加者に明示。

3) IUFRO 本部との連携

3.1) 第 25 回 IUFRO 世界大会関係

- (1) 森林総合研究所と共同でブースを設営し、IUFRO-J パンフレットやフライヤー類を展示したほか、会員からの研究成果報告などを通じて IUFRO-J の活動を紹介した。またブースは、日本からの参加者をはじめ IUFRO メンバーなど海外研究者等との交流の場としても、会員に活用された。その様子は、IUFRO-J NEWS No.127 でも報告されている。
- (2) IUFRO 本部から配信される世界大会開催に向けた案内「IUFRO Congress Spotlight」「Press Release」等を IUFRO-J のウェブサイトで見聞情報として紹介した。

3.2) その他の IUFRO 本部との連携

- (1) IUFRO 本部 (Executive Director) より、日本の IUFRO 会員ならびに関係各位に向けて、これまでの IUFRO-J 活動を賛するメッセージが寄稿された (IUFRO-J NEWS No.127, p17-18)。
- (2) IUFRO の活動を広く知っていただくため、IUFRO-J NEWS No. 124 の該当部分を「一部記事」PDF として、2019 年 3 月より部分公開した。
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/iufroj/iufro-j%20NEWS.html>

(3) IUFRO 本部より、2020 年 3 月中旬の「WORLD WOOD DAY 2020 IN TOKYO」に出席するために渡日する新 IUFRO 会長 John Parrotta 氏と、IUFRO-J 会員とで、意見交換会等の機会を設けられないかとの打診があった。関係者で企画・調整し予定がほぼ確定した段階で、コロナウイルス情勢によりイベントが中止となり、会長の来日そのものがキャンセルとなった。そのため、意見交換会等は実現しなかった。

4) IUFRO-J 活動の普及啓発

(1) 第 25 回 IUFRO 世界大会において、IUFRO 本部と連名で IUFRO-J の活動を紹介するポスターを発表した (IUFRO-J NEWS No. 127, p19)。

(2) IUFRO-J の活動を国内外のより多くの人に紹介するため、IUFRO 本部ウェブサイトでの IUFRO-J NEWS の発行案内用に、No. 113 以降で行っている担当者への PDF の提供を新刊分 (No. 124, 126-127) でも実施した。

<https://www.iufro.org/discover/noticeboard/iufro-announcements/>

(3) IUFRO-J NEWS 冊子体を関係機関等の図書館に配布した。

(4) ISSN 日本センター (国立国会図書館収集書誌部逐次刊行物・特別資料課) に IUFRO-J NEWS 発行毎に、今年度から 1 部増やし 2 部送付した。

(5) 会員外への情報発信の一環として、発行後 1 年を過ぎた IUFRO-J NEWS は、ウェブサイト上に PDF ファイルとして公開した。さらに、IUFRO の国際社会貢献を国民に広く知っていただくため、IUFRO-J NEWS No. 124 は、「一部記事」PDF として、2019 年 3 月より部分公開していた。

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/iufroj/iufro-j%20NEWS.html>

(6) [iufro-j] メーリングリストを通じ、第 25 回 IUFRO 世界大会に関する案内など必要事項について、IUFRO-J メールニュースによる配信を行った。

(7) 機関代表および連絡員が登録されているメーリングリスト ([iufro-j_rep]) に加え、C 会員 (個人会員) への事務連絡用に、新たなメーリングリスト ([iufro-j_c]) を設けた。

--[iufro-j_rep:11] 【リマインド】 本日 12 時半平成 31 (2019) 年度 IUFRO-J 機関代表会議開催 (3/22, 朱鷺メッセ 3F306/306), 議事資料 Fri, 22 Mar 2019

--[iufro-j:35] IUFRO-J NEWS No. 124 (縮小版) Fri, 22 Mar 2019

--[iufro-j:36] 森林総合研究所 IUFRO-J メールニュース☆ IUFRO 本部情報, IUFRO-J 事務局からのお知らせ Mon, 02 Sep 2019

--[iufro-j_rep:12] お願い) IUFRO-J NEWS No. 126 の配送 Tue, 17 Sep 2019

--[iufro-j:37] 森林総合研究所 IUFRO-J メールニュース☆ IUFRO 本部情報, IUFRO-J 事務局からのお知らせ Mon, 30 Sep 2019

-- [iufro-j_rep:13] IUFRO-J 事務局より (新主事着任のご挨拶) Fri, 11 Oct 2019

--[iufro-j_c:1] IUFRO-J 事務局より (新主事着任のご挨拶) Mon, 21 Oct 2019

--[iufro-j_rep:14] 非公式予告 (IUFRO-J 2020 年機関代表会議) Mon, 16 Dec 2019

--[iufro-j_rep:15] [要返信] IUFRO-J 令和 2 (2020) 年機関代表会議のご案内 (3/29 (日), 名古屋大) Fri, 14 Feb 2020

--[iufro-j_rep:16] [補足] IUFRO-J 令和 2 (2020) 年機関代表会議のご案内 (3/29 (日), 名古屋大) Fri, 14 Feb 2020

--[iufro-j_rep:17] IUFRO-J ニュース 127 号の配信 Tue, 18 Feb 2020

--[iufro-j_rep:18] [補足 2] IUFRO-J 令和 2 (2020) 年機関代表会議のご案内 (3/29 (日) お弁当あります) Tue, 18 Feb 2020

--[iufro-j_rep:19] [開催中止] IUFRO-J 令和 2 (2020) 年機関代表会議 (3/29 (日), 名古屋大) Thu, 27 Feb 2020

1-2. 2019 年度役員

議 長	沢田 治雄	(森林総合研究所)
監 事	瀧澤 英紀	(日本大学)
	石塚 森吉	(国際緑化推進センター)
幹事長	平田 泰雅	(森林総合研究所)
幹 事	野田 巖	(森林総合研究所)
主 事	杉元 倫子	(森林総合研究所)

※ 2019.10.1 より

[参考] IUFRO 国際評議員会日本代表

代 表 沢田 治雄 (森林総合研究所)

代表代理 坪山 良夫 (森林総合研究所)

※ 2019.4.1 より

1-3. 2019 年度会員数

A 会員：19 機関 計 475 名（会員数前年度比：51 名減）

B 会員：15 機関 計 69 名（会員数前年度比：16 名減）

C 会員：24 名（会員数前年度比：2 名減）

賛助会員：0

議題 2. 2019 年度（2019.03.19 ～ 2020.02.29）会計決算報告**一般会計**

【収 入】 (円)			
科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	804,215	804,215	
会費 A 会員	502,000	349,000	11 機関
B 会員	78,000	42,000	9 機関
C 会員	29,000	21,000	21 名
2018 年度未収	231,000	142,000	2018 年度までの会費を 2019 年度に払った団体、個人；20 機関，C 会員 18 名
2020 年度以降前納	0	6,000	2020 年度以降の会費を 2019 年度に払った個人；C 会員 4 名
雑収入	100	0	
単年度収入小計	840,100	560,000	
合計	1,644,315	1,364,215	

【支 出】 (円)			
科 目	予 算	決 算	備 考
情報活動費	387,000	303,276	IUFRO-J NEWS 印刷及び送送料
内訳			
NEWS No. 124 発送	10,000	12,970	送料 9,730 円， 発送手数料 3,240 円
NEWS No. 125 印刷・発送	100,000	0	発行中止 欠号
NEWS No. 126 印刷	130,000	119,988	
〃 発送	5,000	13,050	送料 9,810 円， 発送手数料 3,240 円
NEWS No. 127 印刷	130,000	139,260	
〃 発送	5,000	12,220	送料 8,920 円， 発送手数料 3,300 円
通信費	7,000	5,788	郵送費，発送用封筒購入
会議費	20,000	14,700	2019 年機関代表会議会場費・弁当代
雑 費	10,000	9,622	振込手数料，会費受領時送金手数料
助 成	200,000	0	
単年度支出小計	617,000	327,598	
次年度繰越	1,027,315	1,036,617	
合計	1,644,315	1,364,215	

議題 3. 2019 年度監査報告**2019 年度監査報告**

2019 年度 IUFRO-J 事業会計について監査した結果、各種帳簿ならびに証拠書類はいずれも、正確に整理・記

録されており、本件経理は適正であったことを認める。

署名 龍澤英紀

2019 年度監査報告

2019 年度 IUFRO-J 事業会計について監査した結果、各種帳簿ならびに証拠書類はいずれも、正確に整理・記録されており、本件経理は適正であったことを認める。

署名 石塚 森吉

議題 4. 2020 年度事業計画案**1. 一般会計事業****1) IUFRO-J NEWS 発行**

以下、番号（予定時期）：掲載記事に関する事務局案、について記述する。

No.128（2020 年 7 月）：機関代表会議報告，集会報告，IUFRO 本部紹介，IUFRO INFORMATION，IUFRO-J 事務局からのお知らせ

No.129（2021 年 1 月）：集会報告，IUFRO 本部紹介，IUFRO INFORMATION，IUFRO 関連集会カレンダー，IUFRO-J 事務局からのお知らせ

補足：

- ・ IUFRO 及び IUFRO-J の目的や主旨に沿う内容とし、会員相互に広く共有すべき記事を掲載する。
- ・ 各 300 部印刷し、冊子体が必要な B 機関と C 会員に配布する。また、関係者にも広く配布して会員拡大に取り組む。（それ以外の会員には原則 PDF ファイルをメールで配信する。）

2) IUFRO 研究集会事務局・参加助成**2.1) 2019 年選考分**

参加助成：（申請がなかったため）採択なし
事務局助成：採択 1 件（助成金額 20 万円）

◎新潟大学 ACID RAIN 2020: The Future Environment and Role of Multiple Air Pollutants, 10th International Conference on Acid Deposition 事務局
2020 年 10 月 19 ～ 23 日 開催

2020 年 3 月 25 日に ACID RAIN 2020 事務局より、研究集会の開催が新型コロナウイルスのために 1 年延期することに決まったとの連絡があった。

本件は、

①主催者ではなるともしがたい「災害事象」による会合

延期である

ことを踏まえ、IUFRO-J 役員間で検討し、

②実質単純な延期、または選考結果に影響を与えない程度
の内容変更である

場合は、IUFRO-J 事務局一任で選考結果と予算を次年度へ引き継ぐこととする。①・②を確認し、判断できない、または問題がある場合は、再申請・再審査することとする。

2.2) 2020 年申請分

12 月末で申請額を集計し選考委員会に諮り、総額 50 万円程度を助成する。

事務局助成については今後、2019 年度における議論を踏まえ選考の際の参考資料として、研究集会全体の予算計画の提出を要望することとする。

助成事業の概要（詳細は IUFRO 研究集会事務局・参加助成実施要領参照のこと）

○助成申請は随時受け付けている。

○12 月末で集計し、選考委員会に諮り、助成対象を決定。

○具体的内容

年間総額 50 万円程度

事務局：20 万円 / 件

参加：10 万円 / 件 用途（発表は海外に限る、ただし世界大会を含まない。）

選考委員会（4 名で構成）で決定。

応募資格：会費を納入している機関、会員に限る。

助成を受けた者のオブリゲーション：IUFRO-J NEWS での報告。

加えて、事務局助成の場合は、IUFRO-J の助成があることを研究集会参加者に明示。

※ IUFRO-J 会員に該当者がいないため、「役員会出席助成」は 2018 年度から事業計画に掲載していない。（詳しくは、IUFRO-J NEWS No.124 掲載の機関代表会議概要報告を参照のこと。）

3) 研究集会の後援

- ・研究集会の目的が IUFRO-J の主旨に沿う研究集会について、広報の支援を行う。
- ・後援内容は、経費の支出をとみなわないものとする。
- ・主催者からの申請にもとづき、事務局で後援を決定、実施し、機関代表会議に報告する。

4) IUFRO 本部との連携

IUFRO-J 事務局としてメール等を介して IUFRO 本部との連携を推進するとともに、IUFRO-J ウェブサイトから IUFRO 情報を発信する。

5) IUFRO-J による普及啓発活動

メーリングリストの活用や IUFRO-J ウェブサイトを通じて、IUFRO 及び IUFRO-J 会員の活動を、国内外のより多くの人に紹介する。

6) その他、審議事項

(1) IUFRO 国際評議員会日本代表、日本代表代理の推薦について（会則第 2 条 2）

IUFRO の最高決議機関・IUFRO 国際評議員会の次期 5 カ年（2019—2024：注）の日本代表として、坪山良夫氏（森林研究・整備機構理事（研究担当））を、同代表代理に河原孝行氏（森林総合研究所企画部長）を、IUFRO 本部に連絡した。

2020 年 1 月 29 日に連絡し IUFRO 本部に受理された候補者を変更し、改めて IUFRO 国際評議員会の日本代表として、浅野（中静）透氏（森林総合研究所所長）を、同代表代理に坪山良夫氏を、IUFRO 本部に連絡する。

本件に関連し IUFRO 本部が作成した日本国内の IUFRO 加盟機関一覧を、別添資料として配布した。記載情報の更新が必要な場合は、直接 IUFRO 本部に連絡願う。

注）2019 年 10 月に開催された第 25 回 IUFRO 世界大会が区切りとなっており、任期は 5 年間。

(2) IUFRO-J 名義の口座管理について

現在、ゆうちょ銀行（旧郵便局）の「総合口座」「振替口座」、筑波銀行の「総合口座」の計 3 口座を管理・運用している。事務局では、管理作業軽減のため、筑波銀行の総合口座を廃止する。一方、会員に振込料が発生しない体制を維持するために、ゆうちょ銀行の振替口座については廃止しないが、振替受払通知票を 2020 年 4 月以降も郵送で受け取るのに必要な手数料を支払う。

(3) IUFRO-J NEWS への A 機関（IUFRO 加盟機関）ロゴ掲載について

2018 年 3 月開催の（平成 30 年度）機関代表会議にて審議・決定された本活動については、機関毎に承認を得るための手続き等が異なり、該当する全機関分を一律に掲載することが困難なため、一旦保留とする。

議題 5. 2020 年度予算案

予算案立案の基本的な考え方：単年度収支均衡を心がける。

一般会計予算案

【収 入】 (円)		
科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	1,032,820	
会費 A 会員	350,000	加入 19 機関
B 会員	40,000	加入 15 機関
C 会員	22,000	22 名
19 年度までの未収分	152,000	15 機関
次年度前納	3,000	C 会員 2 名
雑収入	0	利息
単年度収入小計	567,000	
合計	1,599,820	

【支 出】 (円)		
科 目	予 算	備 考
情報活動費	337,000	IUFRO-J NEWS 印刷及び 発送手数料
内訳		
IUFRO-J NEWS No. 128 印刷・発送	150,000	印刷費
IUFRO-J NEWS No. 129 印刷・発送	15,000	送料, 発送手数料
通信費	150,000	印刷費
会議費	15,000	送料, 発送手数料
	7,000	郵送費, 発送用封筒購入
雑 費	0	令和 2 (2020) 年機関代表 会議は, メール会議に変 更して開催
助 成	30,000	会費受領手数料, 振込送 金手数料等
単年度支出小計	0	
予備費	367,000	
合計	1,232,820	2019 年度採択助成金 (1 件・200,000) を含む
	1,599,820	

議題 6. 会則の一部改訂

第 7 条の会計年度について、次の通り改訂。
 (現行) 毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。
 →(改訂案) 毎年 3 月 1 日に始まり、翌年 2 月末日に
 終る。
 (2019 年度については、2019 年 3 月 19 日に始まり、
 2020 年 2 月 29 日までとする。)

議題 7. 役員選出, 承認

2020 年度役員

役員 氏名	所属	区分 (任期)
議長 浅野 透	森林総合研究所	新 (前任残: ~ 2021 年 3 月)
監事 瀧澤 英紀	日本大学	現 (3 期目: 2020 年 4 月~)
監事 石塚 森吉	国際緑化推進センター	現 (1 期目: 2019 年 4 月~)
幹事 平田 泰雅	森林総合研究所	現 (3 期目: 2020 年 4 月~)
幹事 藤間 剛	森林総合研究所	新 (1 期目: 2020 年 4 月~)
主事 杉元 倫子	森林総合研究所	現 (1 期目: 2020 年 4 月~)

議長、幹事および監事は機関代表会議で選出し、主事は議長が委嘱。(会則第 11 条)

任期は 2 年とし、再任を妨げない。(会則第 12 条)

IUFRO 国際評議員会日本代表 (2019 ~ 2024)

代 表 中 静 (浅野) 透 (森林総合研究所)
 代表代理 坪山 良夫 (森林総合研究所)

沢田治雄 前 IUFRO-J 議長の退任挨拶

2015 年 4 月に森林総研に戻り、IUFRO-J 議長を務め
 させていただきましたが、この度、退任いたしました。
 この 5 年の間、会員機関また会員各位には大変お世話に
 になりました。とりわけ、各機関の取りまとめや、森林学
 会の最中にもかかわらず機関代表会議に出席してくだ
 さった皆様、ありがとうございました。IUFRO-J と
 IUFRO の発展、そして日本の森林研究者の世界的活動
 の発展を祈念しております。

(通常であれば、機関代表が一堂に会する機関代表会
 議でご挨拶いただくべきところ、開催中止となったこと
 から、今回特別に退任挨拶をいただき掲載いたしまし
 た。(事務局))

事務局からのお知らせ

1. IUFRO-J NEWS への寄稿のお願い

IUFRO-J では、森林・林業・木材に関する国際情報、国際研究集会の開催予定や内容紹介を充実させるため、会員間で共有を図っております。現在、新型コロナウイルス感染防止対策などの影響で、国内外を問わず研究集会の延期・中止やオンラインでの開催などの連絡が相次いでおります。IUFRO 関連国際研究集会にご参加を予定されている方々は元より、オンライン開催された研究集会への参加報告や感想など、今の状況だからこその経験をされている方々におかれましても、IUFRO-J NEWS へのご寄稿をお待ちしております。

また、IUFRO-J NEWS の内容を充実させるため、IUFRO 研究集会の開催予定や内容紹介、森林・林業・林産業に関連する研究機関、出版物の情報等、会員で広く共有したい事項について、記事をお寄せ下さい。会員相互の情報交換の場として、「IUFRO-J NEWS」をご活用下さい。

2. IUFRO 研究集会事務局・参加助成

IUFRO-J では日本国内に事務局がある IUFRO 研究集会の事務局費及び、国外で開催される IUFRO 研究集会への参加費に対する助成を行っています。実施要領や過去の実績は、下記ウェブサイトで確認下さい。http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/iufroj/information.html

2021 年 1 月から 2022 年 3 月に開催される研究集会が助成の選考対象です。申請は随時受け付けております。希望者は 2020 年 12 月末までに、規定の書式に従い助成申請書を提出してください。申請書の様式も上記ウェブサイトからダウンロード出来ます。申請は 12 月末時点で集約し、採否を選考委員会で決定いたします。なお事務局助成については、選考の際の参考資料とするため、研究集会全体の予算計画の提出もお願いいたします。

3. IUFRO-J 名称と目的

IUFRO-J は国際森林研究機関連合日本委員会の略称です。IUFRO 本部の目的に沿って、その事業に協力するため、国内の森林・林産業に関連する研究機関の相互連携を図るとともに、IUFRO 本部に関連する諸活動に貢献することを目的としています。本会の趣旨に賛同する機関・団体または個人が IUFRO-J の会員になることができます。以下リンクをご参照下さい。http://www.

ffpri.affrc.go.jp/labs/iufroj/kaisoku.html

会費納入・研究者登録のお願い

IUFRO-J の活動は会費収入で運営されております。健全な会の運営のために会費納入をお願いいたします。

A, B 会員におかれましては、会費納入と併せて研究者（会則第 5 条）、連絡員（付則 1）の登録（事務局への連絡）をいただいております。また、転勤・退職等で機関を離れた皆様には、あらためてご登録いただきますようよろしくお願い申し上げます。

納入方法

郵便振替口座：00190-3-159224

名義：IUFRO-J 事務局

※事務局といたしましては、できる限り郵便振替をご利用いただきますようお願い申し上げます。

銀行振込の場合

ゆうちょ銀行 ○六八（ゼロロクハチ）店

普通預金口座 2457242

名義：IUFRO-J 事務局

（ふりがな：ユフロジェイジムキョク）

※筑波銀行の口座は廃止いたしましたので、ご注意下さい。

IUFRO-J NEWS No. 128

July 15, 2020

Copyright © 2020 IUFRO-Japan

Published by IUFRO-Japan

Edited by IUFRO-Japan Secretariat

1 Matsunosato, Tsukuba, Ibaraki 305-8687 JAPAN

TEL: +81-29-829-8327

http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/iufroj/index_Eng.html

Email: iufro-j@ffpri.affrc.go.jp

ISSN: 2189-5503

IUFRO-J NEWS No. 128

2020 年 7 月 15 日

国際森林研究機関連合日本委員会（IUFRO-J）事務局

〒305-8687 茨城県つくば市松の里 1

国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所内

TEL 029-829-8327 （国際研究推進室）

http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/iufroj/

Email: iufro-j@ffpri.affrc.go.jp

〔編集・発行〕